

MOTO Fizz
REMOTE-CONTROLLED ALARM SYSTEM
FOR MOTORCYCLE

POWER ALARM

MF-4668 パワーアラーム

取扱説明書

適合

12V バッテリー搭載車

(バッテリーレス車には使用できません)

この度はMF-4668「パワーアラーム」をご購入いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は製品を正しく安全にご使用頂く為に必要な物です。装着及びご使用の前によくお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

また、この取扱説明書はなくさずに常にお手元に保管してください。



この表示の内容を守らないと、事故やケガまたは車両に損害を与える事があります。

TANAX

目 次

- 仕様
- 特長
- 使用上の注意
- 部品構成
- 取り付けに必要な工具など
- リモコンについて
 - 1 各部名称
 - 2 液晶アイコンの説明
 - 3 操作方法
 - 4 リモコンバッテリーの充電方法
- センサーボックスについて
 - 配線方法
 - 基本配線図
 - 配線及び作動確認の手順
- 警報音の鳴り方
 - A. 振動を感知した時
 - B. 傾斜を感知した時
 - C. 電源コード切断警告
- 故障かな？と思ったら・・・

1. 仕 様

センサーボックス

- サイズ 約 50×98×22mm(コードを除く)
- 作動電圧 DC12V
- 消費電力 アラームセット時: 約 4mA
リセット時: 約 3.5mA
警 報 時: 約 330mA
- センサー 3D デジタルセンサー
- センサー感度 振動 0～MAX まで 4 段階
傾斜 5 度の角度変化を感知
- アラーム音量 95dB

リモコン

- サイズ 約 61×38×18mm(アンテナ・突起物を除く)
- 内蔵バッテリー リチウムイオンバッテリー (DC3.7V 150mAh)
- 充電時間 約 3 時間 (完全放電時からの目安)
- 満充電からの使用可能時間 約 72 時間 (使用状況によって異なります。)
- ID コード 100 万通り以上
- チャンネル 3 チャンネル (429MHz 帯)

外部サイレン

- サイズ φ50mm×18mm
- 音量 最大 110dB

2. 特 長

- 特定小電力無線の技術基準適合品
 - ・最大300mの範囲で安定した通信ができます。
- 車両の状態を正確に把握できる、アンサーバック方式の液晶リモコン
 - ・車両の異常を音と液晶表示で確認できます。
 - ・各部の設定もリモコンから変更できます。
 - ・センサーボックスの状態が液晶に表示
 - ・充電式リチウムイオンバッテリーを使用。長時間の使用が可能。
- 3次元デジタルセンサーの採用
 - ・振動と傾斜を分けて検知。駐車条件に合わせて設定ができます。
 - ・振動感度4段階調整式。

3. 使用上の注意

センサーボックス、リモコンは電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得しています。下記の事項を厳守してください。

- 製品の分解、改造、加工等は行わないでください。不正に分解、改造、加工等を行うと法律により罰せられる事があります。また保証期間内であっても保証対象外となるばかりではなく、修理等をお断りする場合があります。
- 製品のラベルは特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得している製品に貼り付けられている物です。このラベルを剥がさないでください。
- この製品は日本国内での使用に限ります。海外での使用及び輸出はできません。
This product is limited to use only in Japan. Use in foreign countries and export are not possible.
- 仕様は改善の為、予告なく変更することがあります。

警告

- センサーボックス、ワーニングランプ、外部サイレン及びオプションリレー等の配線は正しく接続してください。
- 各配線はフレーム等に挟み込まないように取り回してください。ショートや漏電等があると製品の破損、車両火災等を起こす可能性があります。
- DC12V車専用品です。必ずDC12Vのバッテリーから直接電源をお取りください。
- バッテリーレス車には取り付けができません。

注意

- この製品をご使用中であっても、発生した盗難やイタズラ等の責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。
- 保証は製品に対してのみ対象となります。着脱工賃や検査、修理等に発生した工賃・代車料金等の諸費用はお客様のご負担となります。あらかじめご了承下さい。
- センサーボックス、外部サイレンは防滴設計になっておりますが、故意に水を掛ける等の行為は行わないでください。また、高温部や可動部への取り付けは行わないでください。
- リモコンは防水設計になっておりませんので、浸水等にご注意ください。また、落下させたり強い衝撃を与えたりすると破損の原因となりますので、お取り扱いにはご注意ください。
- この製品は車両のバッテリーからの電源供給によって作動します。車両バッテリーの接触不良やバッテリー上がり等の状態では作動不良を起こすことがあります。定期的に車両バッテリーの点検を行い、必要であればメンテナンスを行ってください。(推奨バッテリー容量: 5Ah以上)
- 最大作動範囲は実測値です。街中や建物の中など使用する環境により使用できる範囲が異なる場合があります。

4. 部品構成

※必ず取り付け前に内容を確認してください。



セット内容／①リモコン ②センサーボックス ③外部サイレン

④ワーニングランプ ⑤ACアダプター

その他付属品／●両面テープ×7 ●結束バンド×2 ●取扱説明書

5. 取り付けに必要な工具など

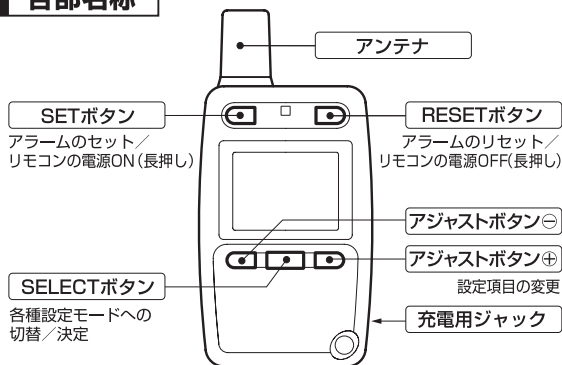
下記の物をご用意ください。

- ④ドライバー ●ビニールテープ ●ガムテープ
- その他、車両に合わせた工具一式

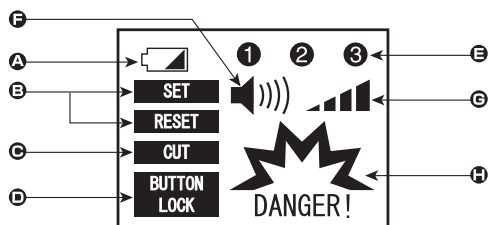
6. リモコンについて

リモコン操作により、センサーボックスのセット／リセット、各設定の変更や作業状態を確認することができます。また愛車に異常があった場合は警報音と液晶表示により、手元のリモコンで確認できます。

1 各部名称



2 液晶アイコンの説明



④リモコンバッテリー残量表示

リモコンのバッテリーの状態を表示します。

⑤セット／リセット表示

センサーボックスのセット状態／リセット状態を表示します。

※セット時／リセット時の通信にて、センサーボックスーリモコン間に何らかの不具合によってエラーがあった場合は、「ビビビビビー」の警告音と共に **SET** / **RESET** の表示が消えます。

⑥電源コード切断警告表示

セット中に電源コードが切断されたり外されたりすると点滅表示します。

⑦ボタンロック表示

セットボタン／リセットボタンのロックを設定すると表示されます。

⑧チャンネル設定表示

センサーボックス・リモコン間の通信を行うチャンネルの設定状況を表示します。

⑨音量設定表示

センサーボックス内蔵サイレンの音量を表示します。

⑩センサー感度設定表示

振動センサーの感度を4段階にて表示します。

※傾斜センサーは感度の変更ができません(一律5°の変化で警告)

⑪警報表示

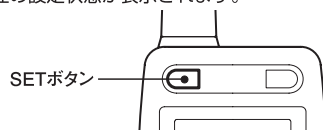
センサーの警報状態を表示します。

※電源コード切断警告表示と警報表示は、警報した時にリモコンが通信圏外にあった場合に表示されないことがあります。

3 操作方法

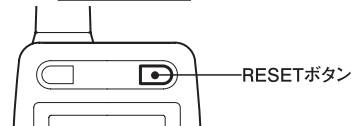
①リモコンの電源を入れる

リモコンのSETボタンを[約5秒間長押し]します。電源が入るとリモコンに現在の設定状態が表示されます。



②リモコンの電源を切る

リモコンのRESETボタンを[約5秒間長押し]します。電源が切れると液晶が消灯します。

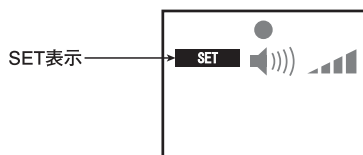


注意

- 長押ししている途中で一回「ビッ」と鳴りますが、そのまま押し続けてください。二回目に「ビッ」と鳴ると電源が切れます。
- セット状態ではリモコンの電源を切ることができません。(リモコンが「ビビビビ」エラー音が鳴ります。)必ずリセット状態で電源を切ってください。

③アラームをセットする

- (1) リモコンの電源が入っていることを確認し、SETボタンを[約1秒間長押し]してください。
- (2) リモコンが「ビッ」と鳴ったらボタンを放してください。この時にセット信号がセンサーボックスに送信されると同時に、液晶に **SET** が表示されます。



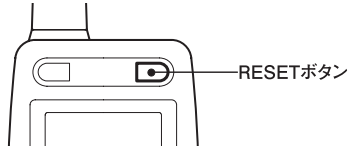
- (3) センサーボックスがセットされると、センサーボックスより「ビッ」と確認音が鳴ります。同時にワーニングランプがゆっくり点滅を始めます。
- (4) センサーボックスよりリモコンにアンサーバック信号が送信されます。リモコンが正しくアンサーバック信号を受信したらリモコンが「ビッ」と鳴ります。

注意

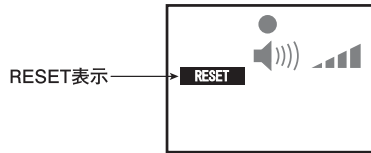
- セット後約5秒間は、センサーが現在の状態をモニターしています。この間は振動などがあっても作動しません。
- センサーボックス⇄リモコンで通信不良があった場合、リモコンが「ビビビビ」とエラー音が鳴り、SETまたはRESETの液晶表示が消灯します。改めてセットし直してください。
- センサーボックス⇄リモコン間の通信可能距離の目安は最大約300mです。建物の中や周囲の電波状況で通信距離が短くなる場合があります。

④ アラームをリセットする

(1) セット状態でRESETボタンを[約1秒間長押し]してください。



(2) リモコンが『ピッ』と鳴ったらボタンを放してください。この時にリセット信号がセンサーボックスに送信されると同時に、液晶に**RESET**が表示されます。



(3) センサーボックスがリセットされると、ワーニングランプが消灯します。また、センサーボックスの警報履歴の音が鳴ります。

履歴あり（警告した場合）	『ピッピッピッ』
履歴なし（警告しなかった場合）	『ピッピッ』

(4) センサーボックスよりリモコンにアンサーバック信号が送信されます。リモコンが正しくアンサーバック信号を受信したら警報履歴の音が鳴ります。

履歴あり（警告した場合）	『ビッ』
履歴なし（警告しなかった場合）	『ピッ』



注 意

● センサーボックス⇄リモコンで通信不良があった場合、リモコンが『ビビビッ』とエラー音が鳴り、**SET** または **RESET** の液晶表示が消灯します。改めてリセットし直してください。この時、センサーボックスはセット状態の場合とリセット状態の場合があります。ワーニングランプで確認してください。

(A) リモコンから送信したリセット信号がセンサーボックスに届かなかった場合

⇒ センサーボックスはセット状態です。
(ワーニングランプは点滅中)

(B) センサーボックスへリセット信号が届いたが、アンサーバック信号がリモコンに届かなかった場合

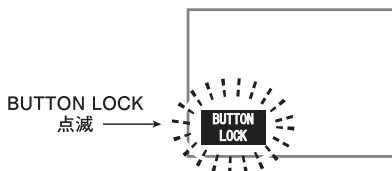
⇒ センサーボックスはリセット状態です。
(ワーニングランプは消灯)

⑤ 設定を変更する

センサーボックスの感度、音量とリモコンのボタンロックを設定することができます。この操作はセット時／リセット時共に行うことができます。

(1) SELECTボタンを[約1秒間長押し]してください。

液晶の**BUTTON LOCK**が点滅し、設定モードになります。



(2) SELECTボタンを押すたびに点滅する箇所が ボタンロック設定→音量設定→振動感度設定→ボタンロック設定 と変わって行きます。点滅している項目をアジャストボタンの⊖/⊕で変更してください。

(3) 変更が終了したらSELECTボタンを [約1秒間長押し] して決定してください。リモコンが『ピッ』と鳴り、設定データがセンサーボックスへ送信されます。

(4) センサーボックスの設定が変更されたらセンサーボックスが『ピッ』と鳴り、リモコンにアンサーバック信号が送信されます。

(5) リモコンが正しくアンサーバック信号を受信したら、『ピッ』と鳴ります。

設定項目

① ボタンロック

リモコンの誤操作を防ぐ為に、ボタンを押しても作動しないようにします。

(1) アジャストボタンの⊖/⊕を押すと **BUTTON LOCK** の点滅スピードが変わります。

● 早い点滅：ボタンロックOFF（通常通り操作できます）

● 遅い点滅：ボタンロックON（ボタン操作ができなくなります）

(2) SELECTボタンで決定します

● 通常表示になると、ボタンロックOFF時は **BUTTON LOCK** の表示が消灯します。

● ボタンロックON時は **BUTTON LOCK** の表示が点灯します。

※ ボタンロック中でも下記操作は可能です。

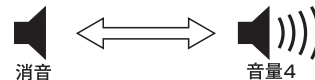
● 設定モードの操作(SELECTボタン／アジャストボタンの⊖/⊕)

● 警報中のリセット（リセット後は操作できなくなります）

② 音量設定

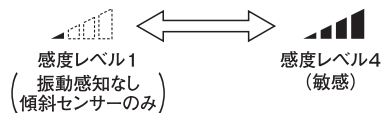
センサーボックス内部サイレンの作動音や警告音の音量を変更します。

※ 外部サイレンの音量には反映されません。



③ 感度設定

振動の感度を設定します。



3次元デジタルセンサーを採用する事により、振動と傾斜をより細かく検知する事ができます。

▲ 感度1 傾斜センサーのみ有効

▲ 感度2 傾斜センサー＋振動センサー（感度小）

▲ 感度3 傾斜センサー＋振動センサー（感度中）

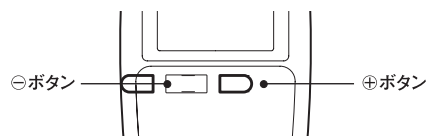
▲ 感度4 傾斜センサー＋振動センサー（感度大）

※ 傾斜感度は調整できません。（5度の角度変化を感知）

⑥ 自由アラームを鳴らす

車両をイタズラしようとしているのを発見した場合や、広い駐車場で愛車がどこにあるかわからなくなってしまった時など、任意の操作でアラームを5秒間だけ鳴らすことができます。

アジャストボタンの⊖ボタンと⊕ボタンを同時に長押し（約3秒）



注 意

● 自由アラームは緊急を要する時などに使用する機能です。むやみに鳴らさないようにしてください。

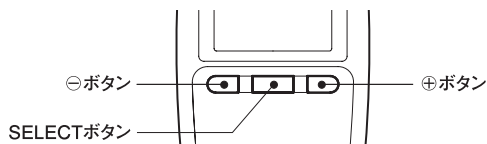
● センサーボックスの設定にかかわらず最大音量で鳴ります。音量の調整はできませんのでご注意ください。

● セット時／リセット時にかかわらず操作する事ができます。

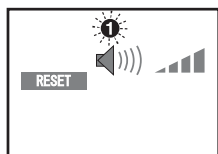
⑦ セットアップ及びチャンネルの変更

センサーボックス⇄リモコン間の通信は、IDコードが合わない限り作動しません。初めてご使用になる時や、センサーボックスの電源コードを外した時はセットアップの作業が必要です。また、同時に電波の周波数を変更することができます。

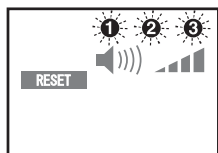
- (1)センサーボックスがリセット状態である事を確認し、電源コードのマイナス側を外してから再度接続し直してください。ワーニングランプが約1分間点灯します。
- (2)リモコンのアジャストボタンの⊖または⊕どちらかとSELECTボタンを同時に約1秒間長押しします。



- (3)リモコンの液晶に現在のチャンネル(①/②/③)が点滅表示されます。チャンネルを変更する場合は、アジャストボタンの⊖または⊕にて任意のチャンネルに変更してください。



- (4)リモコンのSELECTボタンを『ピッ』と鳴るまで約一秒間長押しし、センサーボックスにデータを送信します。センサーボックスがチャンネル変更信号を受信すると、センサーボックスのサイレンから『ピッ』と確認音が鳴ります。
 - (5)センサーボックスよりアンサーバックの信号がリモコンに送信されます。リモコンが正しく受信をしたらリモコンも『ピッ』と確認音が鳴り作業終了です。
- ※通信不良など正しく行われなかった場合は、リモコンが『ビビビビ』と鳴ります。同時に液晶のチャンネル表示①/②/③が全点滅します。一度電源コードのマイナス側を外してから再度接続し、最初からやり直してください。



エラーの場合は、
①②③が全て
点滅します。

- ※この作業は電源コードを接続後、ワーニングランプが点灯している1分間のみ行うことができます。1分を過ぎるとセンサーボックスが信号を受け付けませんので、一度電源コードのマイナス側を外してから再度接続し、最初からやり直してください。また、一度セットアップまたはチャンネル変更を終了すると、すぐに信号の受付を停止します。
- ※通信エラーを防止する為、リモコンはセンサーボックスから5m以内の距離で行ってください。
- ※バッテリーを車両から完全に外した場合、車両によっては純正装着の電装品がリセットされる物があります。車両の取扱説明書をご確認ください。
- ※セット中にチャンネル変更はできません。
- ※防犯上センサーボックスにセットアップできるのは一つのリモコンのみとなります。(他のリモコンをセットアップすると、それ以前のリモコンのセットアップは解除されます。)

⚠ 注意

- この作業は電源コードを再接続する必要があります。センサーボックスがセット中に電源コードを外すと、電源コード切断警告を行いますのでご注意ください。
- チャンネルを変更した後は必ず作動確認を行い、通信に異常が無い事をご確認ください。

⑧ リモコンの電源を切る

リモコンのRESETボタンを約5秒間長押しします。電源が切れると液晶が消灯します。

⚠ 注意

- 長押ししている途中で一回『ピッ』と鳴りますが、そのまま押し続けてください。二回目に『ピッ』と鳴ると電源が切れます。
- セット状態ではリモコンの電源を切ることができません。(リモコンが『ビビビビ』とエラー音が鳴ります。)
必ずリセット状態で電源を切ってください。

4 リモコンバッテリーの充電方法

バッテリーの充電が無くなってくると、液晶のバッテリーマークが点灯・点滅します。付属のACアダプターをリモコン右側の充電用ジャックに差し込み、充電を行ってください。

バッテリーマークの表示	バッテリー充電状態
表示無し (消灯)	残量は充分です。
 (点灯)	残量が少なくなってきています。
 (点滅)	残量は非常に少ない状態です。 →早急に充電を行ってください。

充電を始めると液晶部の左上に赤いランプが点灯します。このランプが消えると充電終了です。また、充電中でもリモコンの操作は可能です。

⚠ 警告

- ACアダプターは100V専用です。家庭用コンセントでご使用ください。
- 他のACアダプターを使用しないでください。リモコンや内蔵バッテリー、ACアダプターが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

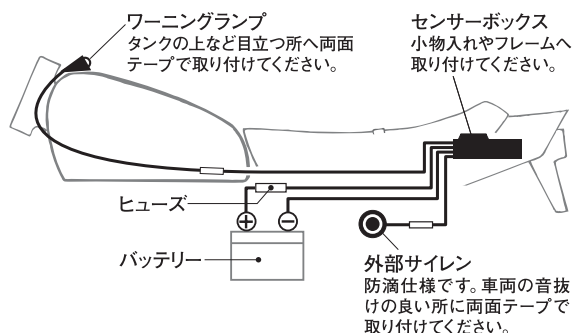
- ご購入時にリモコンバッテリーの充電残量が少ない事があります。最初にご使用頂く場合は満充電にしてからご使用ください。
- リモコンバッテリーは消耗品です。充電を繰り返しても使用時間が著しく短くなった場合は交換が必要となります。リモコンバッテリーの交換はご購入の販売店や弊社サービス部にご相談ください。お預かりして交換いたします。

7. センサーボックスについて

3次元デジタルセンサーの採用により、振動と傾斜を個別に検知します。

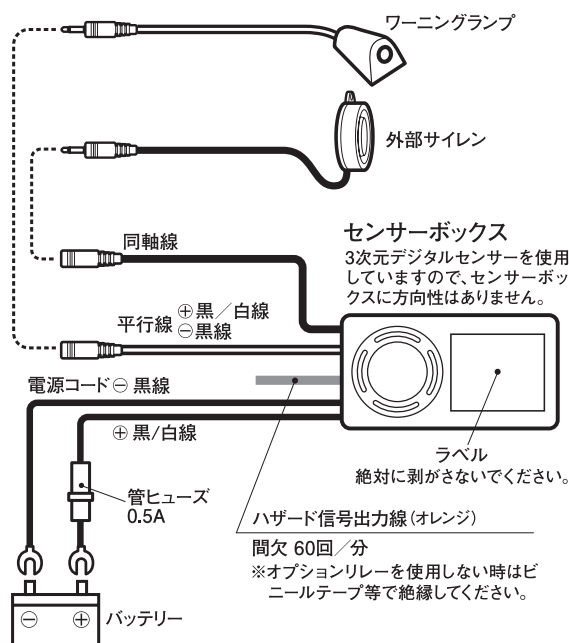
配線方法

バッテリーの⊕⊖端子に接続するだけで作動します。
車両の配線を加工する必要はありません。



基本配線図

※車両に組み込む前に仮配線にて作動確認を行ってください。



配線及び作動確認の手順

- ① リモコンの電源を入れてください。（電源の入れ方は **6.リモコンについて** の項目をご参照ください。）
- ② 基本配線図を参考に、仮配線としてワーニングランプ、外部サイレンをセンサーボックスに接続し、センサーボックスをガムテープで仮固定してください。また、オプションのハザードリレーを併用の際は同時に接続してください。（ハザードリレーを使用しない場合は、センサーボックスから出ているオレンジ線をビニールテープで絶縁してください。）
- ③ バッテリーの端子に電源コードを接続してください。
※バッテリーを車両から完全に取り外した場合、車両によっては純正装着の電装品がリセットされる場合があります。車両の取扱説明書をご確認ください。
- ④ センサーボックスが正しく接続されると、センサーボックスが『ピッ』と鳴り、同時にワーニングランプが一分間点灯し続けます。この間に本体⇄リモコンのセットアップを行います。
（ **6.リモコンについて** の項目をご参照ください。）
- ⑤ 取り付けスペースにガムテープ等で仮止めし、振動や傾斜を正しく検知することを確認してください。
（ **6.リモコンについて** 及び **8.警報音の鳴り方** の項目をご参照ください。）
- ⑥ リセットをしてから電源コードの端子をマイナスから外してください。車体へ配線を取り回し、センサーボックス等を固定してから再度端子を接続してください。

注意

- 振動や傾斜の検知感度が著しく悪い場合は、取り付け場所を変更してください。
（フレームに直接取り付ける事をお勧めします。）

8. 警報音の鳴り方

警報音の鳴り方は以下の通りです。

サブアラーム 内部サイレンのみ2秒間だけ鳴ります。
（音量調整ができます。）

リモコンの液晶に が点滅表示されます。

メインアラーム 内部サイレン+外部サイレンが20秒間発報します。
（外部サイレンは音量の調整ができません。）

リモコンの液晶に と DANGER! が交互に点滅表示されます。

① 振動を感知した時

- (a) 弱い振動を受けた場合
⇒サブアラームが鳴ります。
（その後20秒間に2回目の振動感知があると(b)へ）
- (b) 弱い振動を連続で受けた場合 } ⇒メインアラームが鳴ります。
- (c) 強い振動を受けた場合 }

＜振動を感知した時の警報音の鳴り方（概念図）＞

振動(強)↑	警報無し		メインアラーム サブアラーム		メインアラーム サブアラーム		メインアラーム サブアラーム		メインアラーム サブアラーム		メインアラーム サブアラーム	
	一回目	二回目	一回目	二回目	一回目	二回目	一回目	二回目	一回目	二回目	一回目	二回目
↓振動(弱)	レベル1 傾斜のみ		レベル2 傾斜 + 振動(感度小)		レベル3 →		レベル4 傾斜 + 振動(感度大)					

(内部サイレン：95dB / 外部サイレン：110dB)

→感度レベル

② 傾斜を感知した時

⇒メインアラームが鳴ります。

車両がセット時の角度に戻ったら止まります。元の角度に戻らなかった場合は5分間鳴り続けます。この場合は5分後に一旦アラームを止め、この状態を0度として自動的にセットし直します。（風など不意に車両が転倒した時にアラームが鳴り続けるのを防止します。）

③ 電源コード切断警告

セット中に電源コードを切断されたり外されたりして電源供給が無くなると、内蔵電池によりセンサーボックスのサイレンから警告音が鳴ります。この時、リモコンにデータが送信され、警告音と共に液晶の **CUT** が点滅します。警告を止めるには通常通りリセットを行ってください。





警告

- この製品は車両バッテリーからの電源供給により作動します。セット中にバッテリー上がりやヒューズ切れ等があると、バッテリーからの電源供給が無くなってしまい電源コード切断警告を行います。定期的に車両バッテリーや電源コードの点検を行い、必要であればメンテナンスを行ってください。
- 電源コードが切断された時は、センサーボックスのメンテナンスが必要です。センサーボックスとリモコンをセットで弊社へお送りください。(センサーボックスや電源コードの破損状況により修理代が掛かる場合があります。)



注意

- 整備等でバッテリーを外す時は、必ずリセット状態にて行ってください。
- 電源コード切断の警告音はセンサーボックスの内部サイレンのみの作動となります。外部サイレンからは音が出ませんのでご注意ください。また、内部サイレンは音量設定に関わらず最大音量で鳴ります。
- 電源コード切断の警告があった時は、必ず車両バッテリーや電源コード、ヒューズ等の点検を行ってください。
- 内蔵電池の状態を確認する為に定期的にセット状態でマイナス端子を外し、警告が正しく行われるか確認してください。

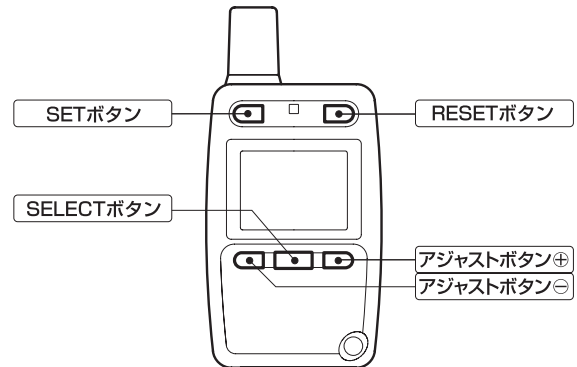
9. 故障かな？と思ったら・・・

- 振動を与えても警報しない。
 - ①セットされていない。 → セットしてください。
 - ②センサー感度がレベル1(傾斜のみ)になっている。 → 設定を変更してください。
 - ③音量が0になっている。 → 設定を変更してください。
- セットアップができない。
 - ①センサーボックスがセット中。 → リセットしてください。
 - ②電源コードを外していない。 → 一旦外し、再接続してください。
 - ③電源コードを再接続した後、1分以上経過した。 → 1分以内に完了しないとキャンセルされます。
- 電源コード切断警報が作動しない
 - ①センサーボックスがリセット中。 → セットしてください。
 - ②内蔵電池残量が少ない。(実際に警告した等) → メンテナンスが必要です。ご相談ください。
- 車両のバッテリーが頻繁に上がる
 - ①バッテリー容量が少ない。 → 推奨容量は5Ah以上です。
 - ②頻繁に作動している。 → 作動原因を探してください。周囲の振動が原因であれば設定を変更してください。

※作動原因が不明のまま設定を変更するのは、危険ですのでお止めください。
- 配線のショート等 → 各配線を確認してください。
- リモコンで操作してもセンサーボックスが反応しない
 - ①ヒューズ切れ。 → ヒューズ切れの原因を探し、修復してからヒューズを交換してください。(使用ヒューズ容量 0.5A)
 - ②セットアップされていない。 → セットアップしてください。
 - ③異なるリモコンで操作している。 → セットアップされているリモコンを使用するか、再セットアップしてください。
 - ④電波障害など → チャンネルを変更してみてください。

かんたん操作ガイド

リモコン電源ON	SETボタン約5秒長押し
リモコン電源OFF	RESETボタン約5秒長押し
セット	SETボタン約1秒長押し
リセット	RESETボタン約1秒長押し
設定変更	SELECT長押し →SELECT短押しで項目変更 アジャストボタンで変更 SELECT長押しで決定
セットアップ チャンネル変更	センサーボックス電源を再接続 →SELECTと⊖又は⊕長押し ⊖又は⊕でチャンネル変更 SELECTで決定



10. 補修パーツ、オプションパーツのご案内

オプションパーツ

●MF-4669 パワーアラーム用オプションリレー

定価 ¥5,250 (税込み)

パワーアラームの作動と連動して車両のハザードランプを点滅させるリレーキットです。

補修パーツ

品番	品名	価格(税込み)
MP-168	リモコン	¥15,750
MP-169	ワーニングランプ	¥2,625
MP-172	リモコン用バッテリー ※お預かりして交換	¥5,250
MP-173	外部サイレン	¥3,780
MP-174	ACアダプター	¥2,940

保証について(化粧箱側面表示)

保証書(販売店欄記入済み、またはレシート)は保証を受ける際に必要となりますので、必ずお手元に大切に保管されるようお願い申し上げます。(保証書を使用する場合は切りはなしてご使用下さい。)

本品に対するご連絡・ご相談先

TANAX タナックス株式会社

TEL.04-7150-2450(月～金 9:00～18:00)

〒270-0151 千葉県流山市後平井107-3

1130160JS